

議 事 録

会議等の名称	第1回 再エネ化推進部門分科会	開催日時	令和5年7月3日(月) 午後2時30分～午後3時30分
		場 所	本庁舎2階 第二委員会室
主催者(事務局)	市民生活部 生活環境課 ゼロカーボン推進係	司会者	唐澤 真崇(ゼロカーボン推進係長)
出席者(敬称略)	別紙「出席者名簿」のとおり		
欠席者(敬称略)	別紙「出席者名簿」のとおり		
議 題	(議題) 意見交換 ・ 重点対策加速化事業における再エネ導入について ・ " 間接補助事業について	(配布資料)	なし
決定事項	なし		
確認・検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助件数や条件について検討する。 ・ 補助事業を行う場合の広報について検討する。 		
次回への検討事項	同上		
次回開催	(日時)	未定	(場所) 未定

討議内容及び経過	(発言者名)	
1. 開会	唐澤係長	(開会)
2. あいさつ	分科会長	(あいさつ)
3. 意見交換	唐澤係長	以前PPA方式により太陽光発電設備を普及していくことをお話ししましたが、
		一般住宅と民間施設に関しては補助金交付により再エネの普及へシフト
		することを考えています。
		皆様のご意見をお聞かせください。
	委員	補助件数、補助対象については調査する必要がある。
	唐澤係長	補助件数は交付額から算出したものです。何件程度申請が来るのかという調
		査は行っていませんが、例えば補助対象を新築に限定した場合、現在市内の
		新築件数は年間130件程度であり、数的には足りると考えています。
	委員	対象を新築に限定するとハウスメーカーだけの利益に繋がってしまう。
		補助金はいくらぐらい出るのか。
	田中主任	1kWあたり7万円です。また、県の補助金も併用が可能です。
	委員	1kW7万円で、一般住宅は概ね4kWを載せるとして28万円の補助となるが、
		果たして載せる方が増えるのか。
	田中主任	今回の事業に加え、県の補助金も活用でき、最大で80万円の補助金交付を
	見込んでおり、多くの方に申請いただけると考えています。	
委員	補助事業を行うにあたっては、市民に確実に周知する必要がある。	
唐澤係長	市報やホームページ、チラシ等を活用し、周知していきます。	
委員	温室効果ガス削減量を把握するため、遠隔監視アプリの導入を条件とし、	
	補助金を交付する代わりに発電量等のデータ提供を受けるのはどうか。	
4. その他	唐澤係長	(なし)
5. 閉会		(閉会)